



未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南市立日枝中学校学校だより
令和3年(2021年)10月8日

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

のがみがわ

「どう伝えるか」より「どうしたら伝わるか」

全校の皆さん、おはようございます。いよいよ、第39回日枝中学校体育祭が始まります。今年の体育祭のテーマは、「天地創造」です。このテーマには、コロナ禍の厳しい現実に向き合い、日枝中学校のみんなが心をひとつにして、新しい体育祭を創り上げていこうという思いが込められています。体育祭を成功させようと、夏休み後半から生徒会、各団団長、団リーダーが中心となり取組を進めてきました。

練習を重ねる毎に、昨日よりも今日、今日よりも明日とより良いものを創り上げていこうとする姿が随所に見受けられました。中でも、3年生を中心とした団の取組では、各団の団長や生徒会長そして体育委員長が連日、指揮台の上から、あるいは団練習の中で皆さんに必死になって何かを伝えようとする姿がありました。人に伝えることの難しさ、「どう伝えるか」より「どうしたら伝わるか」日々悩み続けたと思います。

そして今年は、2年ぶりに「龍神太鼓」が復活しました。一昨日の全校練習では、全校生徒の前で初めてのお披露目となりました。7分間の演奏を食い入るように見ていた皆さんの眼差しが印象的でした。バチを握る手のひらにできたマメが潰れるぐらい、一生懸命練習してきたその成果を今日の本番で存分に発揮してください。また、団対抗リレーの練習では、本番さながらの雰囲気の中、トラックの周りには熱い声援をおくる数多くの生徒の姿が自然とできあがっていました。アンカーがゴールした直後には、勝ち負けを越えた大きな、そして多くの拍手がグラウンドに響き渡っていました。

このように、すでに皆さんは今日を迎えるまでに、大切な何かを手に行っているように思います。この後の競技をとおして、自分や仲間にとって、そしてクラスや学年にとって、勝ち負けよりも大切なものを持つことができるように全力で頑張ってください。

上記の内容は、体育祭の開会式で皆さんに伝えたことです。全ての競技において、皆さんが集中して全力で取り組む姿を多くの場面で観ることができました。昨年度から規模は縮小されましたが、大変中身の濃い体育祭となりました。この取組をとおして、個人や学級、学年としての成果と課題も発見できたと思います。もう一度、自分たちの普段の生活を振り返ると同時に、今月末に予定されている文化祭に、どうつなげていくかが大切です。そのためにも振り返りを丁寧にとること、次の行事に向けた目標を明確にしてください。

生徒会長：S.Nさんの挨拶で開幕



みなさんおはようございます。本日、待ちに待った体育祭が開催されます。今年もまた、コロナウイルスの影響で、普段より小規模で行われますが、文化祭・体育祭のスローガン、「天地創造」を掲げて、みんなで最高に楽しい体育祭を創り上げていきましょう。

「団よさこい」では、団が中心となって振りを確認し、より完璧なものに仕上げてきたと思います。また、各競技では、どの団も優勝目指して頑張ってきたと思います。各競技では、団、クラスで団結し「よさこい」では、日枝中生みんなで楽しみましょう。

☆☆ギャラリーのがみがわ(体育祭編)☆☆

生徒会執行部 N.Hさんの開会宣言



「ただいまより、日枝中学校第39回体育祭を始めます。」緊張した面持ちの中にも、胸を張って正々堂々とはっきりした大きな口調で、開会宣言がされました。全校生徒の表情も、この開会宣言を聞き、これから始まる競技に備える心構えが整ったように感じました。

生徒代表 I.Sさんの選手宣誓



「宣誓、私たち生徒一同は、指導して下さった全ての方々への感謝の気持ちを胸に、一生懸命楽しく、安全に競い合うことを誓います。令和3年10月1日 生徒代表 I.S」

命楽しく、安全に競い合うことを誓います。令和3年10月1日 生徒代表 I.S

何度も何度も練習してきた成果が、Sさんの表情に表れていました。視線をそらすことなく、ひと言ひと言はっきりと大きな声で選手宣誓がされました。会場内からは一際大きな拍手が湧き起こりました。大役、お疲れ様でした。

体育委員長 K.Hさんの競技上の諸注意



競技上の諸注意が体育委員長のHさんから伝えられました。けがのないよう安全な体育祭を全校生徒で意識しながら創り上げていくための内容でした。



↑3年生の「バンブーサーフィン」迫力が違いました。



←3年生全員リレーの様子です。お手本のようなバトンパスと、迫力が違いました。20mのリレーゾーンを最大限に無駄なく活用しながら、流れるようなバトンパスを見せてくれました。また、バトンを受け取る走者は、後ろをほとんど見ることなく走り出しています。素晴らしい!!



←今年から新たな競技として加わった「大縄飛び」です。どの学年もどのクラスも相当な練習時間をかけて本番に挑みました。実は、この写真のクラス(3年3組)のグループは、練習では、120回飛べていたのですが、本番は何と200回超え。会場の全校生徒を釘付けにするほど、縄を回す人も飛ぶ人も、必死になって一生懸命な姿が、会場の生徒全員の「心をひとつ」にした瞬間でした。大切なものの一つかもしれません。

場の全校生徒を釘付けにするほど、縄を回す人も飛ぶ人も、必死になって一生懸命な姿が、会場の生徒全員の「心をひとつ」にした瞬間でした。大切なものの一つかもしれません。

全校よさこい2021

生徒会執行部 S.Iさんの挨拶



オープニングの言葉より↓

2021年、日枝中学校体育祭伝統のフィナーレ「よさこいソーラン。」日枝中の「よさこいソーラン」は、今年で23年目を迎えました。今年は「天地創造」というスローガンのもとに、これまで以上の体育祭にしようと、3年生の団リーダーを中心に夏休みから取り組んできました。コロナウイルスの影響もあり、体育祭の内容が縮小されたり、延期されたりして本当に体育祭が行われるのか不安でいっぱいでした。自分たちが思っていたより、人によさこいを教えることは

難しく、団長や団リーダーはたくさんの壁に当たってきたと思います。日によって練習が上手くいかなかったり、思いがぶつかり合ったりしたときもあったと思います。しかし、団長、団リーダーが中心となって各団が心をひとつにすることで、壁を乗り越え今日という日を迎えることができたと思います。さあ、いよいよ「よさこいソーラン」の始まりです。昨年はコロナウイルスの影響でなくなっていた龍神太鼓も今年は復活し、夏休みからたくさんの練習を積んできた、3年生の代表による龍神太鼓がオープニングを盛り上げます。最後まで楽しく声を上げて精一杯頑張りましょう。

練習の成果を、大切な仲間とともに発揮しましょう。輝ける舞台はここに 있습니다。みんなで記録よりも記憶に残せるような最高のよさこいにしましょう。

天地創造
心ひとつに新たな体育祭を

☆龍神太鼓の復活！☆お見事でした！！



日枝中学校全校よさこいのオープニングを飾る「龍神太鼓」が、見事に復活を遂げました。夏休みの後半から取り組みを開始しました。練習会場は格技場で、冷風機を入れながら、とても過酷な状態での練習でした。ご指導いただいた担当の先生からは、3年生の格好いい姿を見て、早速来年の体育祭では龍神太鼓のメンバーに入りたいとい。2年生の生徒がいますと報告を受けています。



↑各団団長を中心に、繰り返し練習してきた成果が、存分に発揮された瞬間でした！感動をありがとう！！



縦、横、そして円と、何も印がないグ

ラウンドですが、この写真からも練習の成果がうかがえますね。↑

優勝は黄団 K.O団長の挨拶



「皆さんお疲れ様でした。コロナ禍の中、規模が縮小された体育祭でしたが、みんなが元気で楽しく終われたので良かったです。来年は1、2年生が団長やリーダーとして、みんなを引っ張っていく存在になるので、最高の体育祭にしてください。」後輩たちへのメッセージも残しながら、最高学年としての充実した面持ちが印象的でした。



生徒会執行部 W.Kさんの挨拶で閉幕



「みなさん、お疲れ様でした。今年の体育祭はどうでしたか。クラスや団のみんなで練習してきた成果を発揮することができましたか。

また、友達との楽しい思い出をつくることができましたか。コロナの影響で、規模が縮小されたり様々な制限があった中でも、みんなで体育祭を楽しめてよかったと思います。

さて、体育祭の次は文化祭があります。文化祭では、学級発表があります。学級発表は、学級みんなで協力して創り上げていくものです。体育祭以上にさらに団結力が求められます。さらに団結して頑張りましょう。」

台風の影響で、強風の中でしたが最後まで、はっきりと大きな声で閉幕の言葉を述べる事ができました。ありがとうございました。